

## 目標達成計画

作成日: 平成24年2月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議で利用者やサービスの実際、取り組み状況について、報告や話し合いを行い、地域の方々からも率直な意見を出してもらえ、双方向的な会議にしていく。	家族、地域の方々、職員がそれぞれ積極的に関われる関係になる。	職員は会議の内容を把握し、意見や要望について検討し合い、次回の会議に報告する。 外部の方々に来苑時など必ず立ち止まり、笑顔ではっきりとした声で挨拶し、顔見知りの関係作りをする。	6ヶ月
2	10	利用者や家族が意見や要望を気軽に伝えられ、自身の思いや意見が上手に表わせない利用者であっても、それを工夫して利用者主体の運営に結びつける。	利用者や家族の思いを汲み取り、利用者主体の運営に結びつける。	ユニット毎に利用者会議を定期的に関き、個々の意見や要望、苦情などを聞きだす努力や場面作りをしていく。 利用者との挨拶は大きな声ではっきりと笑顔で行う。家族を見かけたら必ず声を掛け、挨拶をして、忙しそうで声がかげにくい感じをもたれないようにする。 意見箱を気軽に利用してもらえよう繰り返し説明し、何でも言ってもらえる雰囲気づくりをしていく。	6ヶ月
3	35	災害はいつどの時間帯でどんな災害が起こるか分からない。また、ビルの4階に施設があることで階段を降りるなど避難に時間がかかる。	色々な災害(火災、地震、水害)、色々な時間帯を想定し、また早期避難のためにも地域住民の参加、協力を得ながらの避難訓練をする。	日頃から食料や飲料水の備蓄しておく。民間の警備会社に毎月消火器等の点検や避難経路の指導など依頼しているが、その際に地域住民の方々にも参加して頂き、避難経路などの確認をもらう。 運営推進会議時にも家族や外部の方々に避難経路の説明などして安心して頂く。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。